

■ ご挨拶

理事就任のご挨拶

日本風力発電協会 理事 庄田 邦彦
エコ・パワー株式会社 取締役



はじめに

今回で三期目となる理事を務めさせていただくことになりました庄田邦彦です。1984年に大協石油（当時、現コスモエネルギーホールディングス）に入社以来石油業界に身を置いてまいりましたが、2012年に風力を含む電力ビジネスに携わることとなり、一昨年6月からエコ・パワー社で風力発電事業三年目の夏を迎えたところです。

縁あって、化石燃料の代表格である石油産業と、再生可能エネルギーの四番打者と言われる風力発電とに関わる機会に恵まれたことを、エネルギー産業に携わり続けてきたものとして深く感謝しています。

と、同時に、社会におけるエネルギーの評価・立ち位置が、社会人成り立ての頃の自分の想像を遥かに超える速さで劇的に変化し続ける現実を前にして、“油屋”30年で染み付いた思い込みをリセットさせ、風力発電の導入拡大に日々まい進しているところです。

エコ・パワー社員として感じたこと

エコ・パワー社が創業した1997年は、京都でCOP3が開催され、『低炭素社会』に向けた地球規模での取り組みが始まるという、再生可能エネルギーが社会の表舞台に登場した正にエポックな年でもありました。

その後約20年を経た昨年暮れのCOP21で採択されたパリ協定では、国際社会が今世紀半ばまでに『低炭素社会』を飛び越えて『脱炭素社会』を目指すまでに至りました。

この間エコ・パワー社とは申しますと、（つい四年前にFITが導入されるまでの長きに亘

り）凡そ順風満帆とは言い難い厳しい事業環境が続いた中であって、営々と全国各地でサイト開発を手掛け今の事業基盤を築き上げた次第です。

改めて、身内であるエコ・パワー社社員を含めて、FIT導入遥か以前から風力発電サイトの開発に情熱を注いでこられた業界先輩諸氏の方々に対して敬意を表させていただきます。

エコ・パワー社の業容は、FIT導入後も順調に拡大し、一昨年の和歌山、福島、昨年の秋田に続き、今年三重県で新サイトが立ち上がる他、来年度中には更に二つのサイトが立ち上がる見通しです。

おわりに

FIT導入を契機に国内風力発電の導入が飛躍的に進むのではとの期待とは裏腹にここにきて早くも様々な課題が顕在化しています。

導入拡大という社会からの要請に応えるべく、協会の一員として関係する皆様と共に課題解決に向けた取り組みを進めて参りますのでよろしくお願いいたします。